

令和5年度「公共トイレ協力店の取組に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q1-1の「公衆トイレのイメージ」に対する質問について、「汚い」(77.6%)、「暗い」(62.6%)などネガティブなイメージを持っている方が多いことが分かりました。少しでも快適に利用いただけるよう、清掃や修繕などを引き続き実施していきます。

Q6の「外出時周囲にトイレが無くて困った時に探す方法」の質問について、「周囲を移動しながら探す」(61.8%)に続いて、「スマートフォンで検索する」(アとイの合計22.0%と回答した方が多かったことから、利用できるトイレに関する情報発信について、効果的な方法を検討していきます。

また、「公共トイレ協力店」の検討を行う際の参考資料として活用していきます。

2 アンケートを実施した感想

Q10の「コンビニエンスストアのトイレ利用」について質問したところ、55.4%の方が「気軽に利用しにくい」と回答しており、その方にQ11にて「店舗のトイレが「公共トイレ協力店」に位置づけられた場合」は、74.2%の方が「利用しやすくなる」と回答がありました。この結果は「公共トイレ協力店」の必要性及び今後の取組として参考になりました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。選択式の設問への回答のほか、自由意見欄にも多くのご意見をいただきました。

公共トイレ協力店の取組に関する意見の他、公衆トイレについて市民の皆様が日頃から感じていることなどについて率直なご意見をいただくことができました。いただいた意見については今後の参考にさせていただき、快適な公衆トイレを目指して取り組んでまいります。

担当：資源循環局街の美化推進課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。